

World Navi

ワールドナビ Vol. 31
2020 WINTER

Navi
対談

安保政策、米国依存から脱却を
「抑止力」「装備」「情報」で日米安保を見直し

衆議院議員

公益社団法人 国際経済交流協会 会長

前原 誠司 × 米田 建三

特 集 GDPで日本を追い抜く!?

“生産性大国”ドイツの強み 木下 尚哉(ジャーナリスト)

特別レポート YouTube番組「日本再興チャンネル」スタート 第1回 ゲスト 松沢成文 参院議員
「香港問題、北東アジアの安全保障に波及」

社団レポート 外国人技能実習生情報

社団レポート 「ブータン王国 ジグミ・ケサル国王・同王妃両陛下
歓迎レセプション」が盛大に行われる

催 事 紹 介 令和元年 国際経済交流協会 忘年懇親会を盛大に開催

寸 鉄 自由と民主を踏みにじり、世界制覇を狙う中華帝国主義の指導者が国賓の怪 米田 建三
疾 風 弾圧者・習近平国家主席を「国賓」で招く愚 産経新聞社論説副委員長 柿原 智



聞き手

公益社団法人 国際経済交流協会

会長 米田 建三

衆議院議員

前原 誠司



安保政策、米国依存から脱却を 「抑止力」「装備」「情報」で日米安保を見直し

米田 本日は私と前原先生の共通のライフワークである安全保障政策をじっくりと話したいと思います。以前、自民党本部の政調会の古参職員から「どんでもない若手議員が増えている。北朝鮮の核・ミサイル問題や拉致問題への対応として『なぜ自衛隊を出動できないのか』と真顔で聞いてくる議員がいる」という話を聞いたことがあります。何も分かっていないというか、昨今の安保政策の議論の水準の低下を如実に物語っているのではないかでしょうか。

前原 昨年8月に産経新聞のコラム「正論」に掲載された佐伯啓思・京都大学名誉教授の「戦後74年、矜持を失った保守」という論文に非常に感銘を受けました。

佐伯氏は「日本は戦後、安全保障をアメリカに頼り切って、日米同盟を強化さえすれば、日本の安全保障は強化されると信じ切っているが、とんでもない話だ。憲法を押し付けられ、安全保障の首根っこをつかまれているのに、何とも思わないのは本当の保守ではない」と喝破していく。私はその通りだと、目からうろこが落ちる思いがしました。

安全保障の原点は自分の国は自分で守るということです。しかし、

前原 昨年8月に産経新聞のコラム「正論」に掲載された佐伯啓思・京都大学名誉教授の「戦後74年、矜持を失った保守」という論文に非常に感銘を受けました。

佐伯氏は「日本は戦後、安全保障をアメリカに頼り切って、日米同盟を強化さえすれば、日本の安全保障は強化されると信じ切っているが、とんでもない話だ。憲法を押し付けられ、安全保障の首根っこをつかまれているのに、何とも思わないのは本当の保守ではない」と喝破していく。私はその通りだと、目からうろこが落ちる思いがしました。

安全保障の原点は自分の国は自分で守るということです。しかし、

米田 一方で、東アジアでは中国が露骨な軍事的拡張を続けており、明らかに軍事的覇権主義を国策の機軸としています。中国のこの拡張政策を見過ごしてきた世界の責任、特に日本の責任は重い。「豊かにしてやれば、民主的な国になるだろう」との勝手な思い込みで、中国にODA（政府開発援助）をじやぶじやぶ与えてきたが、これが全くの大間違いだった。

私はこの積年の政策の誤りを指摘し続けていますが、あるとき、外務省の幹部が訪ねてきて「かたくなな反中姿勢を改めてくれないか」と申し入れてきた。当然、私は「中国に強力な力を持たせる

現実には日米安保体制のもとで日本が独自に自分の国を守るのは難しい。トランプ大統領は表で日米安保条約は不公平だと批判しつつ、裏で在日米軍駐留経費の日本側負担を4~5倍に増やすよう要求している。ある意味、トランプ大統領は日本がアメリカに安全保障を頼り切っているという日米安保の本質を見抜いている。日本側からすれば、ここまでいいようにやられていいのかという話です。

中国のモンスター化、日本に責任

と、世界のモンスターになる」とはねつきましたが、その幹部は「最近は対中融和がトレンドですから」などと平然と言った。私は「はやりで外交をやるのか。国益を計算し尽くしてやるのが外交だろう」と反論しましたが、唚然としました。

そこで今般、非常に問題なのが、習近平国家主席を春に国賓として我が国に招くことです。天安門事件の後、日本は天皇陛下の訪中を実現させて、当時、国際的に孤立していた中国に対する包囲網を緩めるのに大きな役割を果たした。

それが今日の中国の軍事的覇権主義につながっている。今回、米中対立が激化し、香港問題やウイグル人弾圧で中国への国際的な批判が高まる中での国賓招待は、非常に危険な外交だ。

前原 国賓招待は重要な問題であり、質問主意書を提出して政府の見解を正そうと思っています。中国との関係は隣国として大切にしなければならず、これまで米田先生のご指摘通り、積極的に関与してグローバル経済に引き込み、共産党1党独裁が変わることではないかと期待して支援してきました。しかし、中国は旧ソ連のペレストロイカやグラスノス

チのような改革には一切手を付けて、逆にソ連の失敗を教訓にして、公産党1党独裁を堅持したまま、改革・開放を行った。

これが見事に成功し、この40年間でGDP、貿易量は200倍、公表国防費は60倍に増加。日本はあつという間に経済でも軍事でも追い抜かれ、中国はアメリカと並ぶ軍事経済大国となつた。アメリカは強力な中国をつくり出したのは、中国を野放しにした結果だとして方針を転換し、これまでと異なるアプローチを図っています。

米田 アメリカはレーガン大統領時代にソ連との軍拡競争に打って出で、ソ連の経済を破綻させ、冷戦の終結につなげました。

それを彷彿とさせるのが、2018年10月のペンス副大統領の演説です。中国の存在を危険とみなし、中国との対決に打って出る姿勢を鮮明にしました。そんな同盟国アメリカとの大きな食い違いの現れが、習近平国家主席の国賓としての招待ではないでしょうか。

前原 ペンス演説はアメリカによる対中「鉄のカーテン演説」といえるものですが、一方でトランプ大統領はそれ以上に融通無碍で、結局、最後はディールに持ち込もうとするのではないでしょうか。

日韓関係、政治家の腹芸に限界

前原 レーガン大統領は立派でした。トランプ大統領は自分の再選が第1で、そのためには原則を曲げてでも妥協を図るのではないかと見ておかなければなりません。

米田 トランプ政権はレーガン政権のような理念型の政権の再来ではないということですか。

前原 レーガン大統領は立派でした。トランプ大統領は自分の再選が第1で、そのためには原則を曲げてでも妥協を図るのではないかと見ておかなければなりません。

私はこれまで様々なルートで安倍晋三首相に対し、何の証拠がないにもかかわらず、朝鮮人慰安婦問題を認めた「河野談話」を公式に否定するよう進言してきましたが、動きはありません。元徴用工も韓国側はさらわれたかのような主張していますが、実際は自ら募集に応募してきた人たちです。

なぜ日本政府は態度をはつきりさせないのか、不思議で仕方ない。韓国側は虚構のプロパガンダの強制性を認めました。元徴用工も韓国側はさらわれたかのような主張していますが、実際は自ら募集に応募してきた人たちです。

私は今から15年ほど前に月刊『正論』に朝鮮半島情勢に関する論文を寄稿し、核兵器を保有する朝鮮半島が早晚、誕生すると予測しました。韓国には北朝鮮による核抑止力の問題です。言うまでもなく、核保有国の政治的発信力は非常に大きく、自国の権益や主張を強く裏打ちするものです。

私は今から15年ほど前に月刊『正論』に朝鮮半島情勢に関する論文を寄稿し、核兵器を保有する朝鮮半島が早晚、誕生すると予測しました。韓国には北朝鮮による核抑止力の問題です。言うまでもなく、核保有国の政治的発信力は非常に大きく、自国の権益や主張を強く裏打ちするものです。

の立場や認識の違いを踏まえつつ、何とかお互いが理解できるところを見いだすべく知恵を出していこうということで一致しました。やはり日米韓が基本型であり、関係をうまくマジメントすることが大事だと思います。

米田 違う視点で申しますが、これまでのような政治家同士が政治技術を駆使していくに落としこころを見つけるかという対応ではもはや、日韓関係は維持できなくなっていると思います。もっとマクロの視点で両国民の感情に根差す問題に正面から取り組むべきです。

特に韓国側の誤った固定観念を正す必要があります。反日教育を受けて育った若い世代は、「20万人の若い女性が道端でさらわれ、慰安婦にされた」などという強制連行説を植え込まれ、すっかり定説として染み付いてしまっている。こんな大嘘を放つておいてはいけないし、それを放置していることは実は韓国人に対する侮蔑であると思っています。「韓国人は20万人の若い女性が誘拐されるのを黙つて見ているような民族」と言つているのに等しいからです。

核保有国家・統一朝鮮の可能性も

米田 次は今後の我が国の安全保障を考えるうえで避けて通れない

北朝鮮を懲らしめてくれるから、北朝鮮の核武装は実現しない」などと、日米同盟への妙な期待感からの反論が出てくる。

確かに韓国側は歴史問題でゴールポストを動かします。しかし、1965年の日韓基本条約及び日韓請求権協定で、請求件問題は「完全かつ最終的に」解決されており、それに反することは一切認められない。我々にとつて譲つてはいけない原則です。元徴用工問題での韓国大法院の判決は「1910年の日韓併合から不法」という前提に立つており、そんなものは認められない。基本ラインを崩す必要は全くありません。

私は日韓議員連盟の副会長を務めており、昨年11月にソウルで韓国側と話し合いました。それぞれ



2017年から18年にかけて北朝鮮の核問題を巡って米朝間の緊張が高まつたとき、私は雑誌「新潮45」の企画で元海上自衛隊幹部らと対談したことがありました。

元幹部は「まもなくアメリカは北朝鮮を叩く」と強調しましたが、私は「絶対に叩かない」と断言しました。アメリカが自国の国益を勘案し、最終最後で「本当に北朝鮮の核を武力で排除することがあるのか。いやないだろ」という判断からです。

2003年に、私は当時、衆院

議員でしたが、来日したアメリカのコーベン国防長官と非公式の朝食会を同僚の自民党国防族の議員たちと一緒に開きました。その時、コーベン氏が「北朝鮮はやがて何個か核兵器を持つ。どう思うか」と尋ねてきた。私は「どう思うかじやないだろ。何を言っているのか」と呴みかけましたが、明確な答えはありませんでした。

その時、私は思いましたね。アメリカは北朝鮮の核問題で血眼にはならない。日本がこの問題でアメリカから高額の兵器、MD（ミサイル防衛）の装備を買ってくればいいと思っている、と。

アメリカにとって、北東アジアは中東と違つて、死活的に重要な問題ではない。第1優先地域ではない。しかば、北朝鮮問題で日本のために命をかけてくれるわけがないではないか。これが私の日米同盟への疑念であります。

前原 至極、慧眼です。仮に統すればですが、統一国家朝鮮が核保有になる可能性は十二分にあります。中国、ロシア、統一朝鮮がすべて核保有国になれば、日本も持つべきだという議論が、今どき表明しました。

しかし、その後、我が国の安全保障政策は専守防衛という妙なものに凝り固まり、非現実的で空虚なものに堕してしまつた。たとえ防衛上の必要があつても、他国に脅威を与えない最小限の防衛力しか持たない。自分の身を守る必要性があつても、相手にプレッシャーをかけるのはよくないのでは、プレッシャーをかけない防衛力しか持たない。これは抑止力とは真逆の発想であつて、言語の体を成さないというか、マゾヒズムの極致です。

現在はミサイルなどの軍事技術が飛躍的に進歩し、鳩山一郎内閣で、当時と安全保障環境が様変わりしている。攻撃能力は敵基地だけを対象とするもので十分なのか。それで敵のミサイル発射を抑止できるのか。『敵地攻撃能力』の保有が抑止力として有効なのではないか。もう1つは、敵基地攻撃能力の



国際法において自衛の権利はいかなる国にも認められています。国連憲章も紛争の解決手段として個別戦争の禁止を掲げる一方で、安全保障理事会が国際の平和及び安全の維持に必要な措置をとるまでの間、個別的又は集団的自衛の固有の権利を害するものではない」と明記しています。我が国も当然、自衛の権利を有しており、憲法9条は個別戦争の禁止といふことを肝に銘じてほしい。

元幹部は「まもなくアメリカは北朝鮮を叩く」と強調しましたが、私は「絶対に叩かない」と断言しました。アメリカが自国の国益を勘案し、最終最後で「本当に北朝鮮の核を武力で排除することがあるのか。いやないだろ」という判断からです。

2003年に、私は当時、衆院

は格段に違うレベルで上がつてくる可能性があるでしょう。

日米同盟は既に60年の歴史があり、「朝一夕には変えられませんが、私は以下の4つの点で日米同盟の見直しが必要と考えています。これは言い換えれば、日本がアメリカにどこで首根っこを押されられているかといふ話です。

第1は、核抑止力です。これはもちろん、日本にはない。

第2は、やられたらやり返す能

力、敵を攻撃する能力が日本にはない。アメリカから「盾と矛の役割を分けて、矛の役割を任せてくれればいい」と思つている、と。

アメリカにとって、北東アジアは中東と違つて、死活的に重要な問題ではない。第1優先地域ではない。しかば、北朝鮮問題で日本のために命をかけてくれるわけがないではないか。これが私の日米同盟への疑念であります。

前原 至極、慧眼です。仮に統すればですが、統一国家朝鮮が核保有になる可能性は十二分にあります。中国、ロシア、統一朝鮮がすべて核保有国になれば、日本も持つべきだという議論が、今どき表明しました。

しかし、その後、我が国の安全保障政策は専守防衛という妙なものに凝り固まり、非現実的で空虚なものに堕してしまつた。たとえ防衛上の必要があつても、他国に脅威を与えない最小限の防衛力しか持たない。自分の身を守る必要性があつても、相手にプレッシャーをかけるのはよくないのでは、プレッシャーをかけない防衛力しか持たない。これは抑止力とは真逆の発想であつて、言語の体を成さないというか、マゾヒズムの極致です。

現在はミサイルなどの軍事技術が飛躍的に進歩し、鳩山一郎内閣で、当時と安全保障環境が様変わりしている。攻撃能力は敵基地だけを対象とするもので十分なのか。それで敵のミサイル発射を抑止できるのか。『敵地攻撃能力』の保有が抑止力として有効なのではないか。

第4は、情報収集。我が国が独自に収集している情報は少なく、一義的な情報はほぼアメリカを通じて入手している。かつての北朝鮮の不審船事案もアメリカからの第一報を受けて、日本側は目視で確認したというのが実態でした。

「核抑止力」「矛の役割」「主要装備」「情報」。日本はこの4つをアメリカに頼っている。アメリカはこの日本の弱みを知り尽くしてい

て、表の自動車関税や農産物などを交渉で平然とデイールを仕掛けているのです。この4点はいずれも見直しをしなければなりませんが、一気に全部はできません。

第2は、やられたらやり返す能

力、敵を攻撃する能力が日本にはない。アメリカから「盾と矛の役割を分けて、矛の役割を任せてくれればいい」と思つている、と。

アメリカにとつて、北東アジアは中東と違つて、死活的に重要な問題ではない。第1優先地域ではない。しかば、北朝鮮問題で日本のために命をかけてくれるわけがないではないか。これが私の日米同盟への疑念であります。

前原 至極、慧眼です。仮に統すればですが、統一国家朝鮮が核保有になる可能性は十二分にあります。中国、ロシア、統一朝鮮がすべて核保有国になれば、日本も持つべきだという議論が、今どき表明しました。

しかし、その後、我が国の安全保障政策は専守防衛という妙なものに凝り固まり、非現実的で空虚なものに堕してしまつた。たとえ防衛上の必要があつても、他国に脅威を与えない最小限の防衛力しか持たない。自分の身を守る必要性があつても、相手にプレッシャーをかけるのはよくないのでは、プレッシャーをかけない防衛力しか持たない。これは抑止力とは真逆の発想であつて、言語の体を成さないというか、マゾヒズムの極致です。

現在はミサイルなどの軍事技術が飛躍的に進歩し、鳩山一郎内閣で、当時と安全保障環境が様変わりしている。攻撃能力は敵基地だけを対象とするもので十分なのか。それで敵のミサイル発射を抑止できるのか。『敵地攻撃能力』の保有が抑止力として有効なのではないか。

前原 誠司
衆議院議員
公認社会人
会員
1947年長野県生まれ
県立松本深志高校卒業、横浜市立大学商学部経済科卒業、横浜市立大学法学部卒業（国際政治学高坂正堯ゼミ）、（財）松下政経塾第8期生、京都府議會議員選挙当選、第40回衆議院議員総選挙初当選（連続9回）、民主党代表、内閣府特命担当大臣沖縄及び北方対策担当、光國立・海洋政策・宇宙開発担当、外務大臣、国家戦略担当大臣、海洋政策担当、内閣府特命担当大臣、経済財政政策、科学技術政策、原子力行政、宇宙政策担当、民主党政調会長、民進党委員等を歴任。

Vol.31 対談者 PROFILE



前原 誠司
衆議院議員
公認社会人
会員
1947年長野県生まれ
県立松本深志高校卒業、横浜市立大学法学部卒業（国際政治学高坂正堯ゼミ）、（財）松下政経塾第8期生、京都府議會議員選挙当選、第40回衆議院議員総選挙初当選（連続9回）、民主党代表、内閣府特命担当大臣沖縄及び北方対策担当、光國立・海洋政策・宇宙開発担当、外務大臣、国家戦略担当大臣、海洋政策担当、内閣府特命担当大臣、経済財政政策、科学技術政策、原子力行政、宇宙政策担当、民主党政調会長、民進党委員等を歴任。

GDPで日本を追い抜く? 「生産性大国、ドイツの強み

木下 尚哉（ジャーナリスト）

ドイツ経済の強さと労働生産性の高さはどこから来るのか。ドイツ経済に詳しい、経済産業研究所／日本生産性本部の上席研究員・岩本晃一氏にお話を伺った。

時間当たり賃金は日本の1・5倍

かつてサッカーW杯の得点王に輝いた元イングランド代表のエース、ゲーリー・リネカーはこう言った。「フットボール（サッカー）は単純だ。22人がボールを奪い合い、最後はドイツが勝つ」と。

「ゲルマン・スピリッツ」の強さは何もサッカーに限ったことではなく、経済に関しても同じだ。第二次世界大戦・敗戦後からの奇跡的な復興。1989年に東西統一を行つた際には景気が大きく落ち込み、「欧洲の病人」と揶揄されたが、2000年の後半以降は経済状況が大きく改善した。そして現在はユーロ経済圏の「独り勝ち」と呼ばれるぐらいの活況を呈している。

このドイツと日本経済のどこが違うのかと数字で比較するとき、出てくるキーワードが「生産性」だ。日本はドイツと比べて人口が約1・5倍、GDPも約1・5倍である。しかしドイツの年間労働時間は日本

本の約3分の2しかなく、時間当たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



「ドイツが持つものづくりの魂日本はもう失つてしまつた!?」

「ドイツ人は理論的に考え、結果が出るまできちんと実行します。

日本人みたいに物事をあやふやにしない。仕事中におしゃべりする

ような無駄な時間の使い方はせず、会議で決められた時間内に結論を出して、定時になつたらさつさと帰ります」

また岩本氏は、ドイツ人が持つ職人の気質に關しても指摘する。

「彼らはよく言います。『メイドインジャーマニー』の名に恥じないものをつくる、と。それに尽ります。ドイツには現場で額に汗

してものをつくる職人がまだまだたくさんいるということです。そ

して実際にドイツ車に象徴されるように、価格は高いけれども消費者が欲しがる高品質な商品をつくっています」

公益財団法人日本生産性本部とは
1955年に日本産業の生産性運動の中核組織として設立された民間団体。社会経済システムおよび生産性に関する調査研究、情報の収集及び提供、普及及び啓発、研究会、セミナー等の開催を行うことにより、国民経済の生産性の向上を図り、もって我が国経済の発展、国民生活の向上等に寄与すること目的とする。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

かつてサッカーW杯の得点王に輝いた元イングランド代表のエース、ゲーリー・リネカーはこう言った。「フットボール（サッカー）は単純だ。22人がボールを奪い合い、最後はドイツが勝つ」と。

「ゲルマン・スピリッツ」の強さは何もサッカーに限ったことではなく、経済に関しても同じだ。第二次世界大戦・敗戦後からの奇跡的な復興。1989年に東西統一を行つた際には景気が大きく落ち込み、「欧洲の病人」と揶揄されたが、2000年の後半以降は経済状況が大きく改善した。そして現在はユーロ経済圏の「独り勝ち」と呼ばれるぐらいの活況を呈している。

このドイツと日本経済のどこが違うのかと数字で比較するとき、出てくるキーワードが「生産性」だ。日本はドイツと比べて人口が約1・5倍、GDPも約1・5倍である。しかしドイツの年間労働時間は日本

時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

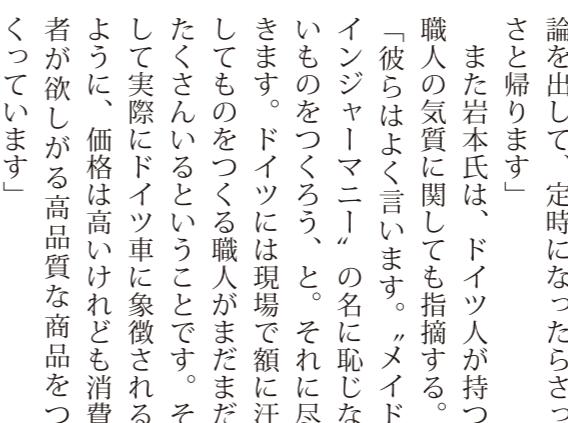
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

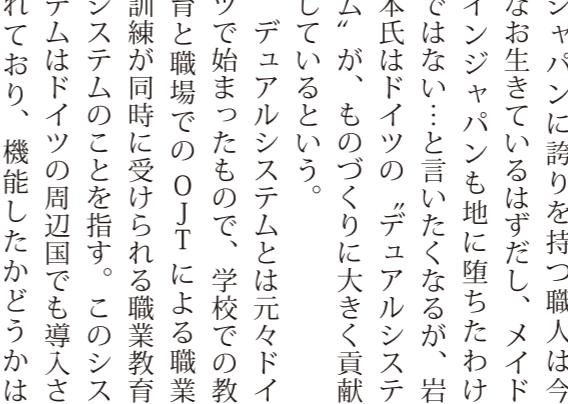
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

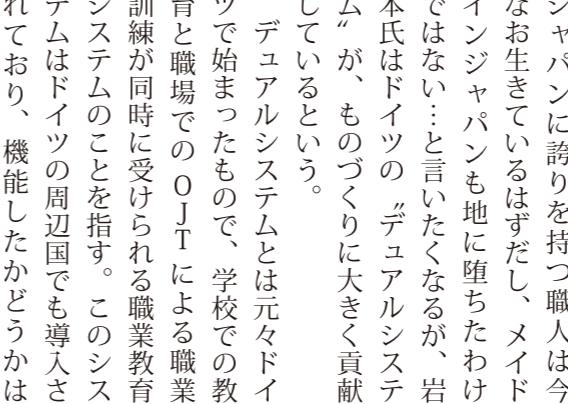
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

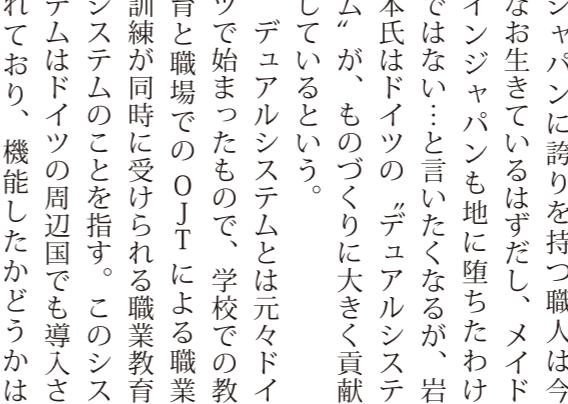
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

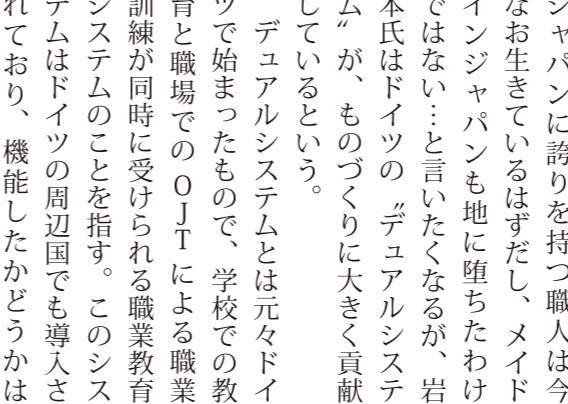
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

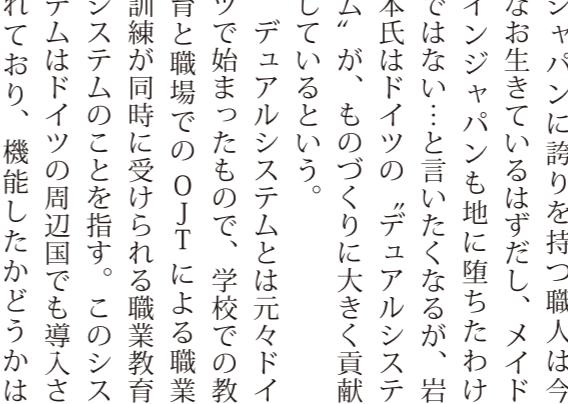
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

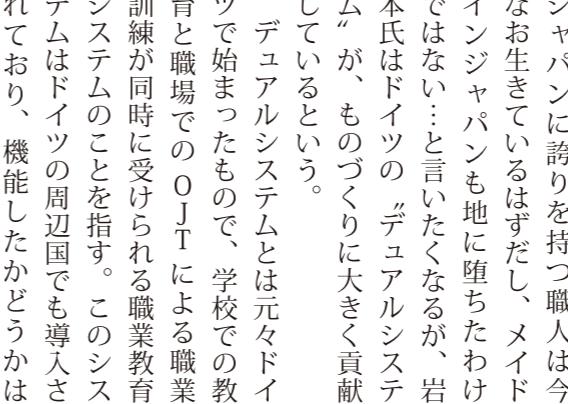
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

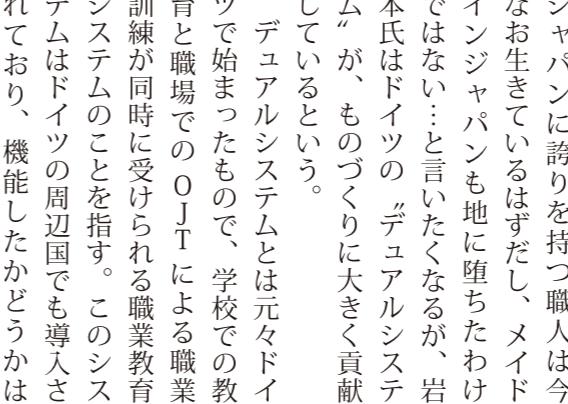
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（絏済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

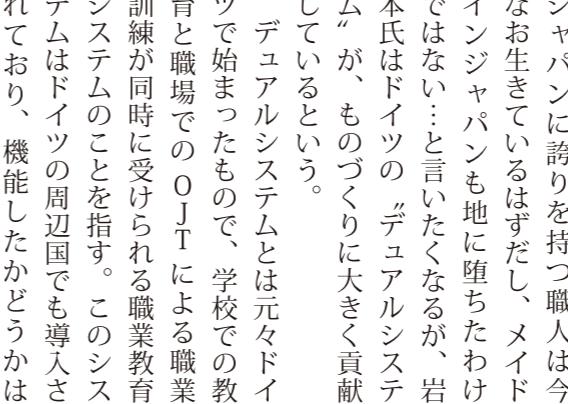
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（絏済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

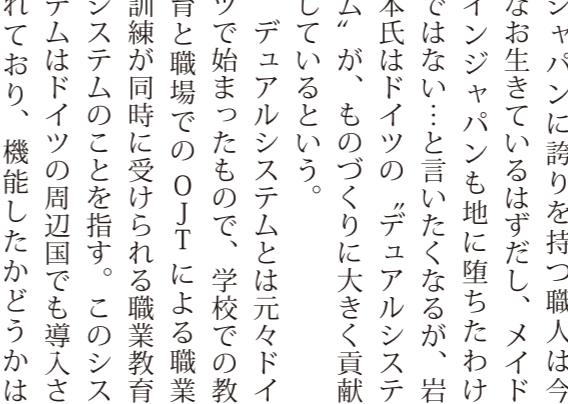
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（絏済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

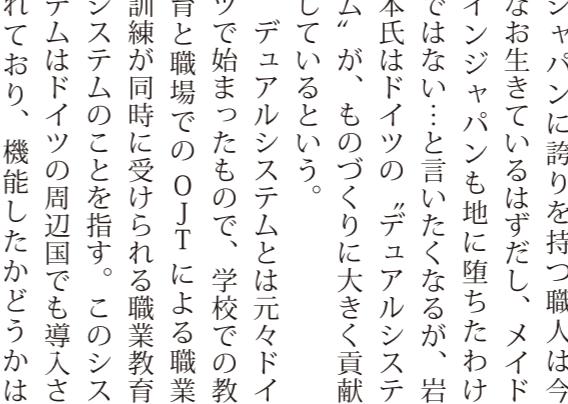
無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（絏済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



時間当たり賃金は日本の1・5倍

たり賃金は約1・5倍もあるといわれている。特に両国の主力産業である製造業では、ドイツの労働生産性は日本の約1・5倍もある。

無論、日本との比較だけではなく、世界の中でもドイツの労働生産性の高さは光る。主要先進国（G7）の中ではトップ、OECD（絏済協力開発機構）加盟国の中で第7位と群を抜いているのだ。



第1回 ゲスト 松沢成文 参院議員 「香港問題、北東アジアの

安全保障に波及

2020年1月、動画共有サイトYouTubeにおいて、米田建三公益社団法人国際経済交流協会会長（元衆院議員）が案内人役として、内外の政治・経済・安全保障・外交・社会等の諸問題や近現代史などについて、多彩なゲストを招いてざっくばらんに話し合ったり、自ら問題提起を行つたりする新番組「日

本再興チャンネル（株式会社インフィニックス制作）がスタートした。

第1回ゲストとして、日本維新の会の松沢成文参院議員を招き、中国問題や日本外交のあり方などを巡って、米田氏と歯に衣着せずに率直な意見交換を行った。本稿では、香港・中国問題を中心に松沢議員の発言の要旨を紹介する。

2018年12月に香港に行つきました。当時は全く平和な香港でした。民主派の議員と会いましたが、半分ぐらいは中国との経済の交わりが強すぎて、付き合っていく

アメリカでは「これ以上、中国をのさばらせてはいけない」ということで、議会が制裁措置を盛り込んだ香港人権法を成立させた。下院では新疆ウイグル自治区でのウイグル人権法案も可決した。

アメリカはトランプ大統領と民主党が対立しているが、対中国問題となると、独裁国家・全体主義国家の中国を抑えないとアメリカの国益は守れないというところで一致する。議会は共和党も民主党も反中。むしろトランプ大統領は米中貿易問題を抱えてイデオロギーじゃなくてディールですから、うまくディールして得するために交渉前

決議に反対はしくいんです。香港の若者の民主化運動を助けるべきだと思っている日本人が多いですから。自民党は今春の習近平国家主席の国賓訪日に影響が出ることを嫌がっている。安倍晋三首相が必死に日中関係を立て直してここまで回復してきたところに、今、決議をやつたら、中国が怒って習近平訪日がご破算になっちゃう、と。自民党は「松沢さんの言う通りだが、今はその時期ではない」と言うんですねが、今やんなきやどうすんの、やるの、は香港が一番困っている今でしょ。私はウイグル情勢に関する決議、法案も出したいくらいですよ。ウイグルではどんでもないことが行われていて

くなっている。国益を守るためにどう戦うかなんて、政治家も若者も真面目に考えなくなっている。骨を抜かれちゃつてはいるんだね、日本人全体がね。メディアもとにかくひどいのは、「桜を見る会」の問題ばかりで、報道はそればばかり。維新の会の香港決議も報道しやしない。だから国民に届かない。

香港問題は必ず台湾に、台湾の統総選に影響する。アメリカは露骨に台湾を支援する法律をつくっている。香港、台湾でもみると、「ここぞチャンス」と北朝鮮が出てくる。日米と中国を割って、その間に核を持った朝鮮半島をつくりたいと思つていて、韓国の文在寅大統領もそれを望んでいる。核保有半島の登場。日



YouTube番組「日本再興チャンネル」スタート

外国人技能実習生情報

定語題 (接能語句題) 二

テーマでお届けしたい。



試験前の集合勉強会



株式会社 テクノス三和（冷凍空気調和機器施工）

用意する必要があるが、試験の内容はあらかじめ分かつていて、繰り返しの予習・復習で対応が可能である。



株式会社 ファインフーズ（食肉加工）



株式会社 けんせつパーク（塗装）



式会社 ハトウ(表装)

が、議会は本気です。

ところが、日本では、実は昨年の臨時国会で日本維新の会は、私の提案で「香港情勢決議案」を提出したんです。が、議運（議院運営委員会）で潰されてしまつた。他の党も乗りやすいようにすごく軟らかい表現にしており、中国のことは一切批判していない。あくまでも香港情勢に深い憂慮を表明し、1国2制度の維持、平和的な話し合いで、「中国」という言葉も使っていいなんですよ。

だけど、自民党も立憲民主党も国民党も全部逃げちやつた。自民党も

骨を抜かれてしまった日本人

「外国人技能実習制度」に関心をお持ちの企業様は、当協会までお問い合わせください。

「ブータン王国 ジグミ・ケサル国王・同王妃両陛下 欽迎セレブション」が盛大に行われる

令和元年10月25日、帝国ホテル「富士の間」にてブータン王国ジグミ・ケサル国王・同王妃両陛下 欽迎セレブションが盛大に行われた。

天皇陛下「即位礼正殿の儀」への参列のため来日されたブータン王国ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク国王、ジェツン・ペ

マ王妃両陛下に加え、このセレブションで日本メディア初お披露目となつたジグミ・ナムギャル・ワンチュク王子がご入場されると、約650名の参加者から歓声と盛大な拍手が沸き起つた。

ジグミ・ケサル国王のスピーチでは日本とのこれまでの繋がりや

将来を見据えた未来志向の関係性に言及。また感謝のお言葉を繰り返し述べられたのが印象的である。

そして当協会の代表理事 鈴木

王澤井一郎名誉総領事の乾杯の挨拶で、歓迎会は一気に和んだ雰囲気となり、来場者は国王・

王妃両陛下との交流を楽しんだ。

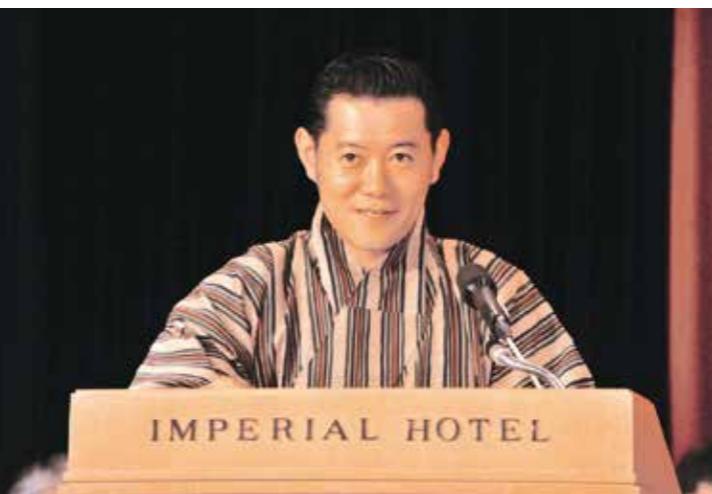
鈴木丈真代表理事は名誉総領事補佐として華やかな歓迎会にするために尽力、フロアではジグミ・ケサル国王、ペマ王妃両陛下は撮影や握手に応じ、笑顔の絶えない和やかな時間が続いた。

T V局をはじめとするマスメ

ディアも多く駆け付け、盛大な歓迎会となった。両陛下のご退場時も最後まで来場者との撮影や握手

に丁寧に応じられ、お人柄が表れているようであった。

(国際経済交流協会 事務局)



ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク国王



左からブータン王国 ジェツン・ペマ王妃 ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク国王 ジグミ・ナムギャル・ワンチュク王子



左から 荒崎マリーナグループ 北条茂 代表 在東京ブータン王国 澤井一郎 名誉総領事 当協会 鈴木丈真 代表理事



会場風景 鈴木真紀子 代表理事夫人より花束贈呈

催事紹介

令和元年 国際経済交流協会 忘年懇親会を盛大に開催



文部科学大臣
萩生田光一
衆議院議員
パラノビチ・ノルバート
駐日ハンガリー大使館
特命全権大使

令和元年12月9日、恒例となつた当協会の忘年懇親会が開催されました。

令和最初の締めくくりにふさわしく多くの方にご出席いただきまして、ご参加くださいました皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

当日は国会の会期末にもかかわらず、文部科学大臣である萩生田光一衆議院議員をはじめ、当協会顧問である河村建夫衆議院議員や党派を超えた多くの先生方、また駐日ハンガリー大使館パラノビチ・ノルバート特命全権大使も駆



左藤章 衆議院議員 下地幹郎 衆議院議員 鈴木宗男 衆議院議員 当協会顧問 河村建夫 衆議院議員



吉田六左衛門 元衆議院議員 古賀一成 元衆議院議員 長尾敬 衆議院議員 城内実 衆議院議員



当協会 鈴木代表理事 当協会 米田会長 小野次郎 元衆議院議員 上田勇 前衆議院議員

天皇陛下「即位礼正殿の儀」への参列のため来日されたブータン

ワニ・ジグミ・ケサル・ナムギャル・

ワンチュク国王、ジェツン・ペ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

